近衛首相を黨主に

か 【清南六日登園通】去る四日 の 湯頭類附近の駿園において 間 を わが片野部陰のため撃退され を わが片野部陰のため撃退され で 潰滅に瀕し死體五百を遺棄し て潰走したが、その一部は辛

潰滅に瀕す

學國大政黨論

中の金剛快速部職は途中百餘

户

格子會溪谷に集結せる徐明山 が静軍航空除は六日鳳駕を連 れて出動、三盆盤西北二里の

取行潰滅的打撃を與べた 後の二回に亘り徹底的爆撃を

軍司令部發表

満滅し、さらに前進五日午 漫山において約三百の敵を 漫山において約三百の敵を

(上海六日發閥道)

事當局者のい | 五日津浦、京漢、同瀬各駿縣 - 部下軍隊を収通〕漢口にあ | ふところによれば、蔣介石は | の將領に對して

二週間で濟南を奪回せよこへ

隆起になり督戦

THE REPORT OF 9 七

午後一時三十分張家口設列車 長に轉出の山田茂二氏は六日 銀行副継載より満洲房脈副計 張家口發 二 學 型 六 日 愛 國

心を

田秀吉氏等の一つ

は、部版はよく分進合撃の特率を 建版せしめた、入江部隊の指 電流のた船戸〇〇隊、更に空中 で撃で與べてこの作職を順線に が設め活動は何れも解記さる できものである 左岸の要點河津を占機せり

【大同六日登園通至急報】六 田午前十時五準城の線を敵の 抵抗を排除しつゝ河曲に向け 抵抗を排除しつゝ河曲に向け たわが岩田、久野村、千田の たわが岩田、久野村、千田の

支新政

權の樹立

那民衆は歸家復業、今更ながの慰療に潤ひ一千萬に近い支別を選び、一千萬に近い支別を表している。

重気天を頼く概を示してゐるか質河を施てゝ喧闘を降院し

経験者の誤れるで 最に自治委員質 をは自治委員質

目粤

見めた支那要人の動きし

更に一歩を進め中支各省に散 在する多数の自治園體を打つ て一丸とする統一締縄の要望 が表に出まり、國民政府多年 の積解を除去して明朝なる政治を待望する民衆の切賞なる

南太平洋兩島の 極承行政命令

大統領署名す

音氏(同)同新京本との一氏(副音公司)同一氏(副音公司)同一氏(副音公司)同一氏(副音公司)同一氏(副音公司)同

·房氏(官吏)同國際 (大氏(漸鐵社員)同 氏(官吏)同

は の の の に 。 に 。 。 に 。 に 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。 。 。 。 。 。 。

中意文氏 (機械面) 同 中意文氏 (機械面) 同 改氏 (輪菜) 同 改氏 (輪菜) 同 廣敏氏(哈市交易所理

吟文鬼氏 (三并物產大願采氏(於順工大教授)

賞鑑畵名回二第

五日強國通

東死體六百、鹵獲品手榴彈二 の河津攻撃による敵の損害遺 の河津攻撃による敵の損害遺

イ は、 関場山は は、 関場山は

(モスクワ五日 級関連) ソヴ 全部相互閉鎖

統を重便した。

河津における

ること」なつたと傳へられて

新豆元率町二八十

新任挨拶

書映得獲賞ニーリソツム

日近會換交ラメカ回四第 開

則

西

れ

室町小學校にで身礎会

たなつた、入関不能者に對したなった、入関不能者に對し

傳染性疾患な

い限り

今晩主なる放送

一黨公演朝日 (八日)

~相 島

男子外交に自信ある方、五女子集金係

七、三〇國民歌新 (大阪) 獨
・ 新演奏子 一、乙女の
・ 一、母の歌
・ 、四〇講演(東京)南京航
・ 、四〇講演(東京)南京航
・ 、四〇世 アノ 欄奏(東京)

は

6

高級刑交場

祝町二丁目新京キネマ南

五

消州支部では北支機ン・ツーリスト・ビ

案內所獨立

-0-

りに関しては後来と 一次人に對して勿論一般 を以て更に爾今これが収扱 を以て更に爾今これが収扱 を以て更に爾今これが収扱 を以て更に爾今これが収扱 を以て更に爾今これが収扱 を以て更に爾今これが収扱 を以て更に爾今これが収扱

行ふかられたいとの

つ保護諸同伴出頭あり

幼稚園は入學を許可

本年の應

寡國兒は百七十名

どうるこれには全く手を熄いてあます、犯罪関係でしたら響系と連絡管波するといるますが、一般 関が版くなりどうも取締や でありますが、一般 でありますが、一般

な生活を替んであ

彩票の國外持出

仮絕對禁

經濟部當局談

前面に進出、廿六日も同地方。
戦し同日午後四時頃澤州城の
戦と同日午後四時頃澤州城の
を演

多數に上りこれ等は

交換科長」防止方法を質せ 筋潤用の更敵に對し電々宮

数は日本人階師百二十八名、現本教育市門に続ける器師の

のもとめに鷹じない臀節が多ないにも拘らず勝手に留守城 は病氣等を口質に患者の往診 は病気等を口質に患者の往診

満として磐í爾法第十六條によ ・選由なしに患者の求診に圏 ・選由なしに患者の求診に圏 ・選出なる指析正常

に不正置師の調査を開始して

宮川交換科長語る

りる

(日 曜 火)

電話局も

関るたちの思いもので多

餘り儲け過ぎて

行かぬ悪徳醫師

首都警察斷乎取締に乘出す

の儘電話を

八邇宮 傷病兵を御慰問遊ばさる 面謁

かの御渡れの御氣色もなく早(軍司令官、東條条謀長上長官)官、平林少將等より軍派の報顧下には長途御旅行にいさゝ(軍司令部に御威り、頼田閥東)京警備司令官、田中憲兵司令明けさせられた東久邇中將宮)ルを御出門、自動車にで闘果。より植田軍司令官、小松原勤やマトキテルに取務第一夜を「朝御起床午前九時ヤマトホテ」の伺候をうけさせられ、十時

回律

師會

明朝傷病兵着京

りたる

濃霧のため

【神戸國 医務立こめ、さながら 航路大遲延 六日朝潮戸

旅館等に備

れ目下捜査中

なかつた程で龍田丸、 立丸、炭東丸外敷隻は 神戸入港が遅れ、又同 神戸入港が遅れ、又同 神戸入港が遅れ、又同 がは済州島附近を徐行 丸に済州島附近を徐行 ため神戸様は足止めを いるなじめ、四司入港 が非常に選れ のをはじめ、四司入港

事業といふものは 極めて密接なる関係にある が設立された戦は、同會社 の直接援助の下に在北支統 関本作るといぶ事は環境会 管な考へであつて自分とし でも是非實現したいと思つ になるといる。 を記された戦後にある を記された戦後にある になるとした機 の直接援助の下に在北支統 でもとした機 のであって自分とした。 でもとした機

路の各流の無龍丸

新京チーム歸る 卓球に優勝

町九時五十分漸く入丸は三時間港外に立

新京工業學校 **電腦二十四一三五番** 新京特別 市大 經路



深夜電話で呼出し 耳に馬鹿野 を喰つた惡臓毎夜つい

来籍館本郷上登郡高村六八四一本籍館本郷上登郡高村六八四一 内に満人を入れて減人方面 に電話番號の徹底を期し度

有 形跡あり七日中央通響に捜査 市内のカフエー、 旅 五日夫の勤務地である天津満 街二番地に赴き滞在中央が清 一田を所持して無断家出行方 中国を所持して無断家出行方

當局の取締要望さる

者の慰靈祭執行

尚式典後率天實職調 際祭を執行することと **長勇會では來る十日事** は従軍者を以て組織す 太子堂で日露殿役職

一航空界に多大の功績をのこした今四六郎大佐は七日午前十時設はとで馴東軍關係、航空會社、減鐵社員、滿洲國航空間原係者等盛大な見遠りをうけて出設赴任した 小石澤英憲氏 高産家課に轉動した小石澤英 憲氏は九日午前十時酸はとで 家族局件赴任する 今西大佐離京 漏洲

全滿都市對抗

小店員採用

CID II KEE

新制第二學年 土木、建美、探觸科(日高等小學校率架程度) 一個制第二學年 進入) (12)〇名 中等學校第三年修了以上《入學試驗は高等 小學校卒架程度》 一生木、建築、探纖科(日 中等學校第三年修了以上《入學試驗は高等 一年表表。 原書 締 切 四月三日午前八時修業年限 獨制三ヶ年夜間 新制第一學年、土木、熱等、探鵬科(日際は右校卒業程度にて行う **歐四月三日午前九時**

家庭に保食 次回後の収扱は 保險は大きくて確實な

精立せる観光機関の設置、北 大所を打つて一丸とし新たに 大所を打つて一丸とし新たに 大所を打つて一丸とし新たに おひとする方法で をできる。 おいても総意研究が進 あったもので、その功績は中 方に関しジャパン・ツーリス 讃人られてゐる が進 あったもので、その功績は中 方に関しジャパン・ツーリス る發展を期せんとする方法で支における観光事業の風滿な

・ビューロー 満洲支部佐原
・ビューロー 満洲支部佐原
が決定し目下鋭意権備中で
が決定し目下鋭意権備中で
が表における案内所の 欄充
北変に表が多数合し
を構動を作るといが、元來観光
に関しジャパン・ツーリス

安東の大火損害

六日早朝の大火の損害については目下安東警察廳で調査中に上る見込みである、 なほぞの後の調査の結果逃げおくれた罹災民務人三名は瀕死の軍

ナチス海外組織 部次長今夜來京 兵は駐日大使館書記官ワルタ 日本マトホテルに投稿数日滞在 中マトホテルに投稿数日滞在 で来京 ・ヤマトホテルに投稿数日滞在

女中さん名古屋ホ 收入多し 新水老松町十番地 **发**

る「無の二九番

一社交ダンス教授 第一アオキダンスアカデミー 第二アオキダンスアカデミー 第二アオキダンスアカデミー

やさしく、たいしく

東三條通り(滿鐵病院東測) エチン・社会の一品料理支那ソバ・焼ソバ、ワンタン・社会の一品料理 シュウマイズ オポーズ 出前建迅 **省**32024**是**

當店自慢の

味のよいので皆様にキット喜ばれる

御問合せは電話③五七七六番へ急譲り度し

そば屋急讓

四馬路

國王御真影及び

錢

萬國郵便切手袋入 百種入 五十錢 二百種入 重統登極記念一組 六十錢 宣統登極記念一組 六十錢 一一個五十錢 二百種入 一一個五十錢 二百種入 祝伊獨承認及び澎洲建國 。 **益** 五 五 百 百

| 一階 六學、二學、押入飲寄場付六疊、押入炊一階 小店舗又ハ住宅向 | 場所 日本橋通り六十八番地ノ二多田洋行ノ裏

小店舗又ハ住宅向

御希望の方は左記へ

興 医 二二八 風

各室共蒸氣暖房、水洗便所上下水道完備

出館迅速 入船町三丁目十五阿川ビル 電話 8大四三一番

朝鮮ノ御をばい

黒部隊のこの進出はその北湖 面の敵を制歴消撃中だが、石 面の敵を制歴消撃中だが、石 が大を占領、緩いて節

前負相談に應ず是非至急

多旅館內

半鳥映満版ふ でない、この流行と並んで、 のが、この流行と並んで、 を整領の再体映識界は大陸映画 である。

●二白の人 目上識者の意見 を意電するが尤も安全の日 乙と丙と丁が吉 乙と丙と丁が吉

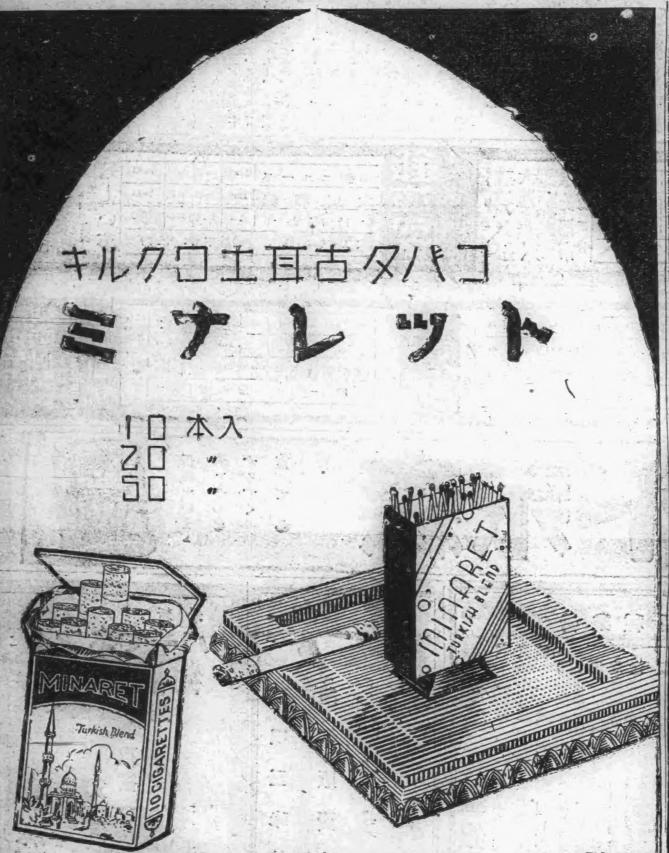
人 物事縺れを生じ

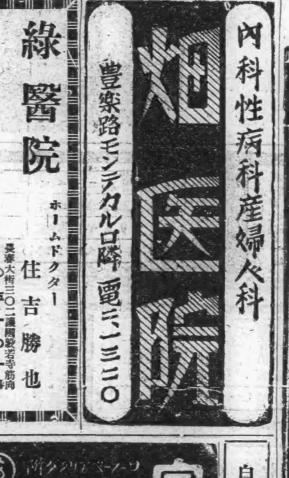
基礎大に定る

英岸百井 小唄勝太郎 春本助次郎 澤村貞子於 肉は行流のリキラハミムズイ定お 原 合工子 (吉本與郛) 明

の「部樂倶そう」るあて奇獵の體 るあて奇獵の魂は行流

閻 魔の 舌を









はいつて来た。

子さんの寫

もだいて、

をかけい姿には随分時間がかからにわかつたの。それが……を一般に知らして、市場の混って、する。

に戻ったのと

94

祭り兄 かさ

デマだつてと

六日より十日まで

株は、全部、

、やられたのだが

ス

ラ

12.10

3.CO

19-23 3-23 6-12

階下六

またなきわが無……

してもよいがねした素んでもない流

いて、論

おにもゆる夢さ見し

は兄の様に脳をつ

風の

女王

8.42

とて満てゐる。

三宅邦子、笠 智 未 佐 男 別 一 日 封 切 大 斯 り 伊 太 郎 信 子 主 装

をほのかに見る事が出 等でろう~出始め季節

り純縮布に對し思惑買氣機頭月一日より、朝鮮は四月一日より、朝鮮は四月一日より、朝鮮は四月一日

△旬末相場左の如し

同二同

20 10、14

八八百 MK.00 同 版 一 六 香

に京城園通1二月中朝鮮貿易二月の朝鮮貿易

五分下旬末 Ta liceito

海外經濟電報

撤きの折柄許可は必然の見込 在北支向輸出による製品不足 在北支向輸出による製品不足 の場合による製品不足

良にて品辨底のため相場は保一間六○錠を鳴へたが蓄地相一間六○錠を鳴へたが蓄地相

地場に於ける需要は未だ謹頭建築材料

古新聞紙 同一K MOO 1867公 有光紙 同 墨公 58700 有光紙 同 墨公 88700 188700 88700

紙 幣 發行

子は、ベルをおして。

限タトナ

安康 大大スペークス かった
一大大スペークス
一大大

新京の商况

新京商工會議所調査

(自一月二

万針であるからその基礎は

中國聯合準備

日開

新潟物の新規入荷を

各地商品市况

銀行

高物價の趨勢は、

新京取引所

温保大豆 週初二十八日は先週末院りのあとを受け、當 二月下旬に於ける

D&11. 0 H以 D

紀州を

13,000 1

大阪綿糸 等付 五時には三宮につきます。「楕田にゐますーーこれからね

來れば行先をいはずに來て下酸(やうなーーですから、出

はいって来た

北、兄

し考へは、 電話を切つた。――節屋へ がり戻る彼女の順種にひらめ

は、馬鹿にお い事付きて、金庫 下の兄の部門 が屋を田――際 の生活にふれてみ 書類を取り出し 部屋を田一 中で暮した囃子

金 3794

いっしく、家の中へ しく、家の中へ 蜘 女 郎 女は嘆か 三日より八日迄

は明きなってるたが、五時時に明き権つてるたが、五時時に関すの気臓に模付けになった自動車の気臓に模付けになった自動車の気酸に表を細目になった自動車の気酸に表を細目にあるさ、そこからおりて、あはたドしく、家の中へ 下六十錢

部屋へ融つてゆく兄のあさか 京の風來坊の風來坊

(一四七)

 追分三五郎 和田朝示實演 仇討醉 虎傳 12.00 3.30 7.0 1.00 4.30 8.00 2.00 5.30 9.00 10.30 悦ちやん薬出す 階下六十錢 六日より八日まで

色がお無いわ……」

かへつた難に避

元

朝 0 座

港

大母ニュース

リビヤ白騎隊

八日九日 (二日間)

旅

朝日・讃賣ニュース 12-20 2-51 5-22 12-45 3-14 5-45 8.16 松.平外記 噫! 友田伍長 1040 4011 6042 10019 三月四日より九日迄

12-20 3-50 7-12

1446 5.07

8.29 10.00

新京大

ニュース
江戸錦倉と 1.30 4.20 7.25 1.45 4.40 7.40 12.00 2.50 6.00 9.00 10.25 女醫絹代先生 附下 四十錢 日曜十一時より

豐樂馴場 画御果内



すくすく 赤ちゃんを 母乳そのまと てる











長 製 造 唄 三 味 店

電話(®)二一〇四一新京路町二丁目三一

〇四季

最 新 ーマネ 御支度は 是非常院へ 取 ダイヤ街通(老松ビル二階) 揃へて居ます 巧衣 老松美粧院 3

「東京 (東京) 中華 (東京)

時方方
「一個をいをでして、
「一個をいをでして、
「一個で、
「一ので、
「一

時國東京

分開會、河野一郎氏 () につき質問あり 家委員會は七日午前十 | 一條 () 巨民の徴用) との闘 関連)衆議院の國家總 | 政友) より兵役法と本法第

方法をとつてやる。

本會議に譲ること」して討論は 本會議に譲ること」して討論は 本會議に譲ること」して討論は たかねます、本案の目的 にが変えに對しては敬意を表 を表 を表 には意味の明瞭ならざるも には動し質否兩論が更に繰 これに對し質否兩論が更に繰 とかねます、本案の目的 にが、その上の議論は と確信 といれる筋もあります、本案の目的 に対してはもがいるでありますが、政 に対してはもが、本案の目的 に対してはもが、を表 と確信 とれる筋もあります、本案の目的 に対してはもが、を表 とれるが、その上の議論は となるしてはもが、政 にはかれるが、となるして にはかれます。本案の目的 にはをなる。となるして には を表

左の如く答 の意を表明 の意を表明

を終り、採決の結果政民共同 かくて政府原案は修正附で可 決され俵委員長より 大され俵委員長より 本委員會は去る一月末以来 国を重ねること二十五回に 及びました、その間適日の 委員各位の御秀苦に對し委 の長される。

同 旨を述べ、午谷二時十分費工 可 「東京園盃」電力修正案に動する政府の態度を決定する配 一 大り七日の電力法案委員會の より七日の電力法案委員會の より七日の電力法案委員會の より七日の電力法案委員會の

金 ※に對する政民南黨の共同修 との同委員會における主正案に對しては財政奮鬧とし 相の答辯を全閣僚一致、なほ今後充分考究する 認、本會議に於て俵委員をが、なほ今後充分考究する 認、本會議に於て俵委員をが、なほ今後充分考究する 報告中に右永井遷相の学 最も適切なりを考へるので より殺害を求めて不同意を この修正案に對して同意を の意思表示を行ふことに まる しょう しょう しょう はい という という という はい はい という はいる という はい という

【頁二十刊夕朝紙本】

つて決定され

總と

のなが、運賃を引いてはないか。 ではないかが、運賃を引いてはを発売した。 ではは一次ではでいかがでは、ではないが、運賃を引いるが、運賃を引いては、できる。 ではないが、運賃を引いる。 では、運賃を引いる。 では、では、できる。 引害し

押については地方のA 中においてこれを負換 中においてこれを負換 擔分 かり かり の 費

大大学 (大大学) 大大学 (大大学) 大大学 (大学) 大学 (大学) 大学

繰入れ配當資源は一層鞏固となり

資産の内容は愈々充實しました。

六百餘萬圓を契約者配當準備金に

を舉げ其の九割四分强に當る一

剩餘金 一千七百餘萬圓

價切下げに振り向け、結局

差額は一千九百三十五萬餘圏に造

内二百二十五萬餘圓を財産評

昭和十二年度に於ける吾社

0 收支

ふ悪

近衛首相談成立に開し近衛等相は左の如本日昭和十三年度總漢事 はか三楽を上程、十八名の特別委員に附託、大に 一、支那文化工作施設に関する請願 を計画り採擇に決し、同十一 時四十二分散會した 事 は は 関係院を 通過しこ へに と は 関係の 成立を 見るに 至 の 成立を 見るに 至 の 成立を 見るに 至 の 成立を 見るに 表 の は 国家の は この 性 国家の は 国家の は 国家の は 国家の は この 性 国家の は

くて内地の農民、選賞の高いこと

同意

で態度法

撃に省外潰走

敵廿萬

ール博士外在京業員多数の黨 場特の右手をあげる挨拶に型 へられて直にヤマトホテルに 入つたが、單に黨人として非 公式に來たものであつてその 上疲勞してゐるからと多くを

H

口收

入

保

險料

七千五十五萬餘四

前年より

201

七百五十一萬佛職

主

な

る

收

支

生

口死

亡

保險金

一千六百九十七萬餘圖

程定死亡に對し

八明三分四

口收

入

踏利息

一千四百二十一萬餘圖

前年より増

一百九千七萬雜職

口爽約

者配當金

一千三百九十九萬餘圖

敗入保険料に到し

一雅九分八

事

霏

費

一千一百三十九萬餘國

今回編洲國に來た目的は東 をかかられざ ので遠方であるかられざ ので遠方であるかられざ ので遠方であるかられざ のの類談日本及び鴻洲國に於 との類談は釜々深くなるで あるがられざ との刻談は釜々深くなるで

似土1

北京區

宗徒本部發會

無

保榜躍起

うすりい丸で赴任の途につい 最高經濟顧問に就任した平生 人人の記述氏は七日午前十一時過

千一ヤの聖地で修楽した阿甸張青 ・ 霊を委員長として打倒共産黨 新政府絶對複雑を叫び庭會裡 とに午後一時閉會した、將來は を に午後一時閉會した、將來は を に年後一時閉會した、將來は を にの組織化をはかると共に日 本の回数文化協會と提携して ・ と

文化の宣揚に野む 化協會と提携して 中國内教 はかると共に日

開會した、將來は 経路を呼び盛會智 平生氏着任俟ち

經協を設く

王克敏氏語る

人事 往 來 小瀬特雄氏 (會社員) 七日 來京國都ホテル ▲小室道郎氏 (牧音楽) 同 ●富永昌三氏 (特産商) 同向 場ホテル

でしまつた。氏は八日午前十 でしまつた。氏は八日午前 神側務院に張阅務徳理、星野 和會を訪問、ついで正午開東 可令官を訪れ種々態談の上 午後二時十分新京調 愛展情況につ 市下する 【湾域は向つて左 カッアイシッと氏、右々ノール

業 ますと 口現在 安全第一を主義とし終始堅實なる

口責任準備金 (網票) 二十三百 倉富田 歩みを續は來れる吾社の現況は左 の如く順調を進展を遂げつるあり 契約高 前年より境別 十八億八千四百萬面 一便七千四百九十歲百二

□契約者配當準備金。三千 總額 前年より増加 前年より増 三世八百餘萬圖 20 五百十餘萬面 三千八百六十餘萬龍 三千四百六十条萬四

質性細なる内容の説明は毎段雄文部構造り載します。

千代田生命保險相互會社

新京出張所 率 天 支 都 批 東京信息機器双橋二丁 卒天黃建通大廣場 類京中央通二三編鮮ビル内

外務社 寄支部出張所又は事務所まで申出られたし。献實努力の士を求む。希望者は履歴書を添へ最信用ある會社の有利なる保險を普及せんとする 員招聘

は北京七日酸圏通 中華民國 に北京七日酸圏通 中華民國 に北京七日酸圏通 中華民國 ため 日変経済協議會その他につき たの如き一間一答を試みだ ▼戸外で健される行事に参加した男女中等學校生徒が目射でバタ/ 倒れるのをよく関る▼日本内地の避暑地の暑額にも劣る嫡別にあるが▼日本内地の避暑地の暑額であるところを見ても如何に被質が虚脳であるかで分る管質が虚脳であるかで分る管質が虚脳であるかで分る管質が虚脳であるかで分る管理手を向この現象は何よりも電大の今日選手をつることもよいが選手を作ることもよいが選手を作る

も加備しはで 午の談界定精反二會會法處社保修結發数、に先れ

でしめんとする」 のなが原案に不信 のながのながのながのながのながのができた。

大使臨書記官ラル 猫通商代表クァ 、七日午後九時 で哈爾濱

が近氏來京

ナチス海外組織部長

强

外に流出してある。

軍事、財政のかいる惨状により必然的に社會の不安と民より必然的に社會の不安と民心の動揺が生じてるる。換言でおいて國民黨政権への信頼のにおいて國民黨政権がかは頻係において國民黨政権がかけ頻係

松井石根大將

菅野代議士失格

について説明をなした。

おいても通日来市内小賣還草 最近補新園煙草は内外地産を 最近補新園煙草は内外地産を

マヌチコス小

草業者に忠

首相に重大進言

電温無效とすとの原審決定、 電温無效とすとの原審決定、 野学上告案却の言液しあり、 時学上告案却の言液しあり、 時学上告案却の言液しあり、

國防皇軍慰恤献金

計 金融金

九千七十八周三二四首二個五十七銭(駐前市

月六日花の分部へか

Hi.

電を試み隔痕無き意見の変換を逃げる。ころあつ、無その後の情況を報告、まらに對支開鍵についての凱旋挨拶のため送術育相が訪問機会を共にした

抗日戦争に對する真意をさへしめたのみならず、蔣介石のしめたのみならず、蔣介石のと急速に低下せ

に内定、四川軍機の目前を をする。 とする。 とする。 とする。 に内定、四川軍機の関係にあたが最近に本でのです。 「関民政府の電優に立夫は六 を宣傳、近麓を大にして四川軍機の を進めの峻嶮を予行 を進めの峻嶮を予行 を進めの峻嶮を予行 を進めの峻嶮を予行 を進めの峻嶮を予行 を進めの地場を表したの にあたらしめ の人夫 にあたらしめ の人夫

優しい心道ひとして哈爾濱連 時間 に 開設

花內巡皮小內產婦 柳 尿膚兒 病科科科科科科科

診療科目

兵士ホー

4

線に置くといふやり方部除として常に第二、

に内定、四川軍閥の目附役に外定、四川軍閥の祖氏で、孫元良を川康総靖副主任らびに鄭漢瑞の四川省代理らびに鄭漢瑞の四川省代理

奉一大工場竣工 ・ 大時から新京ヤマト・テルで ・ 大時から新京ヤマト・テルで ・ 大時から新京ヤマト・テルで ・ 大時から新京ヤマト・テルで ・ 大時から新京ヤマト・テルで

滿洲通信機會社

数権の財政も、上海路落當時 政権の財政も、上海路落當時 現在においては既に重大な危機に直面してゐるもの」如く である。その主要な原因とし である。その主要な原因とし

は北支及び中支の転港、

政友代議士會

緑上げ管濃となる管である の結果次點者編切管兵蘭氏が

新京和計南代

獨片中毒治療科

民政黨この聯繫ご

の間において募集に努めて減じ、関内並びに在外で減じ、関内並びに在外で減し、関内並びに在外の間において募集に努め

(議士會席上に於て秘野幹事 闘し) 東に島田代行委員は右に「東京関通」 政友會の六日の し、更に島田代行委員は右に

本学國一致の建前よりこれを 東学國一致の建前よりこれを が一次の開始を を支持してあるるが、特局に際し、近衛内閣を されたい。ことに黨員ばこの方 で、民政黨との聯絡是機、近衛内閣を をもつて近衛内閣にあたらせ たい、ことに黨員ばこの方 で、民政黨との聯絡是機、近衛内閣を を記み一層諸東を の重力は一におお院につよるわ が、時間の重大性に を望む

審議狀況

(東京関語) 政府から今職會に提出された法律案は貴族院に提出されたもの十六件、衆職院に提出されたもの五十四件、合計七十件に達してゐるが、その審職状況は左の通り

設兵士に解放された 大な開所式を罪げ六日より 一大な開所式を罪げ六日より 一

十八八七 五〇八八〇 〇八五七〇 〇八五八八 四 五

電話

鮮 手 形

現内閣の支持を强調

【上載七日發園通】爆發の危 を内蔵しながら目下小康を を内蔵しながら目下小康を を対所常局の懐柔策は手を變へ 最を變べて行され、その狼狽 振りは醜態を極めてあるが、 を測備構によると関民政府

並びに軍需工場等は

東亞平和

維持者は

取役左の如し

滿洲大豆

祭廳に集め

● 日本の ・ 日本にドイツが鴻洲國より権入せる大豆は四九、四 ・ 八トン、價格云、六九二、四 ・ 八トン、價格云、六九二、四 ・ 一月中にドイツが鴻洲國よ 一月對獨輸出

豫後備役將校團

四川側懐柔に

國民政府躍起

その狼狽振り醜態を極む

本れて結成準備を進めてあた 減州第三種後備役務校園結成 気は、六日午後二時より當地 軍人會館において鈴木牡丹江 勝校會長、大島省長以下園員 形で常長、大島省長以下園員 で変責百五十名列席のもと に盛大に擧行された 牡丹江結成式

入院室完備

藤本ミツノ

田島醫院

原安大路四一九

島

型二、二六〇七

應診致します。

直

EXTERNATION OF THE STATE OF THE OF

頻素 民 理護 士士 一 般法律事務 小 朝日座西隣) 電の

曾

診療時間 ントゲン

(随時往診應需)

痔疾科 小兒科

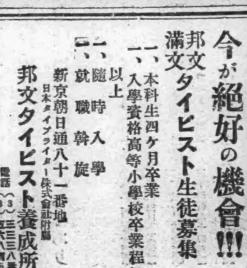
遊上な引下げ便通なよく

慈光助產士看護婦養成所 院長鹽饒村佑 O五O七 斩京职 院室完備 造運送 水祭町三丁目世一 電三、三八四三番















本に 関議決定事項

七日の定例関務院會議は午後

七日の定例関務院會議は午後

一、省、黒河省及び興安各省

に釋動の地方における外事

「理動力における外事

「理動力における外事

「理動力における外事

事変法にはこれ

(理由) 事質法令違反事件の度分に就ては租稅犯處罰法 特殊性に鑑み租稅犯處罰法 特殊性に鑑み租稅犯處罰法 を認める法帳あるをもつて と認める法帳あるをもつて

上下降院は五上午名目的非男 場一致左の原案を審議した結果滿 場一致左の原案を審議した結果滿 に充つ に充つ 、同公債の判論に充つべき 資金を関庫より支出す 一、同公債の判論に充つべき 資金を関庫より支出す 一、同会債の判論に充つべき 費金を関庫より支出す 一、同会債の判論に充つべき 長は國防相これを任命する 長は國防相これを任命する 長は國防相これを任命する 長は國防相これを任命する 長は国防の國防計量に對する學

午後國防特

監 収 常務 収 締役 役 役 役 役 長 佛國防特別資 南院で可決 設置案

米元新聞記者の痛快な著書

養田 新 知 和 一 郎 三 方 を俟つて適感を を使って適感を ので野祭題で

長期戦が對き國民の覺悟

たらの回天の

「内南 更に山西省に於ては南北にお られ共産軍によつて完された」 「関係の基礎も最近漸く固まつて も逐次回復し敗残兵に破壊された。 大大、黄河以北河南省も平静 れた同浦線複段の修理も着々 推 立されることへなり、既にそ 全力が注がれてゐる、各主要 せ ではり、近にを 全力が注がれてゐる、各主要 せ ではなみる運びとなつてゐる とうが注がれてゐる、各主要 せ を力が注がれてゐる、各主要 せ を力が注がれてゐる、各主要 せ を力が注がれてゐる。各主要 せ

基礎愈々固

東河以北復興工作頓に進展

國母陛下の御仁 傷痍軍人へ感謝

怒

地方復揺にも宣撫班、教化班あるので地方の

北支臨時政府の

黄河治水平

中に議録がこれに遵手、さら 一に興中公司も協力して上審華 を最初の發電、給水に成功し 七日午後二時から南市水道廠 では上 ること、なつた、鴻鏡では上 ること、なつた、鴻鏡では上 ること、なつた、鴻鏡では上 るっと、なった、鴻鏡では上 るっと、なった、鴻鏡では上 るっと、なりまづ殿火に の兩氏が主となりまづ殿火に の雨氏が主となりまづ殿火に

は一層の發展を強想されてる。
さらに給水臨園を開北、江灣
定でこれにより大上海の復興
にでこれにより大上海の復興

熱河省の對策

の顕著な落ち着いたホールの な喜ばしてゐるが、此の程あ を喜ばしてゐるが、此の程あ たつた一つのうなぎ専門店られれモン料理で有名な新京で でなく客に出す料理は付出の利息の調理人であるばか 々より食通を初め各家 く申分のない店として はこれで 大なる好評を博し

大上海復興近 興中の活躍 市民の命水道電氣復舊

別疫に當らしめるとと対照に防疫員を派し鳥 版九百十七頭、計一篇 計一篇

勝品だからです。少くとも御家庭に一瓶はお備へください。 とまて申されます。この一瓶さへあれば肌の開社料として、或ひはとまて申されます。この一瓶さへあれば肌の開社料として、或ひは

若返

粧

健康の動物

アベて是れ

雷時の痛刑軍總司令官大山元 前の下した左記訓示は、實に 三十三年後の今日の事態を譲 三十三年後の今日の事態を譲

おいてわれ等のもつて縦

在及び

將來に

水に 對しても不

運家す増を美国

グラフ傷特のホルモン効果で血色か ヨゴレが特脆サッパラと清掃され、 たつた三、四滴……掌に落し又は脱っ はさず、この来適な効果はクラブ乳 々な肌の障碍となるアプラ、アカや 拭っただけで、気孔のなかから、色 眉綿にひたして、お脱をフルッルと 取されて内皮組織の栄養となる専費 いった。 てゐるからなのです。肌からすぐ吸 被が利學を自然の粹をぬいて製られ のをお気付きになります。とりもな ら生々とし肌なめらかにとくのつた る美の泉を云はれるアルモンド果の 特許の綜合ホルモンと、南歐にでき 油脂を苦心調合されてゐるのですか

> はちきれるやうな健康美は自然お家 数、タルミ其他の皮膚障碍を知らい クラフ自粉で健康化粧は満點でする 下にクラブ美身クリーム、白粉なら 又化粧下にゼヒお用ひ下さいノ白粉 庭を明るくするほどです。

ら……。朝夕、一家ぞろつて岩辺 り化粧水クラフ乳液を使ひませう。





情選に使はれないものだ 地の利用計量は何んとか、 高まれざる市民の して、惠まれざる市民の して、惠まれざる市民の して、恵まれざる市民の して、恵まれざる市民の して、恵まれざる市民の して、恵まれざる市民の して、恵まれざる市民の して、恵まれざる市民の して、恵まれざる市民の を建てゝ商店街にするとを市民に満喫させてとを市民に満喫させて

三、〇〇經濟市況
三、四〇經濟市況
三、四〇經濟市況
(大連・斯京)
至、四〇經濟市況
(東京)
四、四〇經濟市況
(東京)
一〇ニュース(東京)
一〇ニュース(解語)
島肉宿賦
・二〇コードモの新聞東京)
大、二五種柴講演(平京)
「東京)
大、二五種柴講演(平京)
「東京)
大、二五種柴講演(平京)
「東京)

お化粧品の代用 手近な處から發見しませう 機を摺り飾してガーゼに包み どんなにでも經濟的に美しく で、また目が滅れた時は、林 瓜など自然の惠みを利用して とはど宜しらございます いいます とはど宜しらございます いいます というこう とればとないます いいます というこう とればとない はいます いいます というこう とんなにでも経済的に美しく に

とれこそ生花の秘訣です

切花 それから上の部分

水、腹少々

○・一般の場所トモサンとは、今ま 強ひます。しかし胃のな様の疾症 際に災症、或は鬱爛頭があれば 活潑となる人 一時的にあらず 産機が溢れば、自然、胃の痛みは減



一度コデれると、日本 の働きが たの国際過多途に対しては、從

の有澤素と腐敗物を現故し、ま は我此業情の製剤

盛んに質用されてゐます。 かし、最近では、新貨膳業トモサ 庭

本分を蒸氣として働かせた後で、そのま、冷却させると、 で、そのま、冷却させると、 が下つてくる、。 小然、樹などの小魚を丸の ま、叩きにした変は、身體の ために大鍵よろしいものです 材料 生小魚、京菜か春菊 調味料、胡麻油 物・、質と腸を除いて錠か出 別の脊で骨も共に丁寧に叩い てをきます。

胸やけ、がする。香酸と云つて酸い液が を伴ひ、腹が張る場合もある。この症狀があれば を伴ひ、腹が張る場合もある。この症狀があれば を伴び、腹が張る場合もある。この症狀があれば

一般、神部勝迫感、或は空腹時に胃が 病を握え、また炎症が悪化すると を失ふのです。

此の語はと言ふの は後でいかりの主風 活性、地酸アル・

胃病で

本格的に治療では駄目です!

過多

T 208

はにれ渡とみ痛の頭

代に張健に導くのが特長です。 小腸の病気を治療し、胃を腸も

職し、胃酸過多は勿論、之に伴 た殺菌側で脳内の有容細胞を殺



一面も常用すれば神経の英巻をよくしい。 文門勝等にも安全無害ですかり、文門勝等にも安全無害ですかり、文門勝等にも安全無害ですかり、文門勝等にも安全無害ですから総別な事意の執務、家事裁縫、護いの執務、家事裁縫、護いの執行とは、一次の対象をはいる。

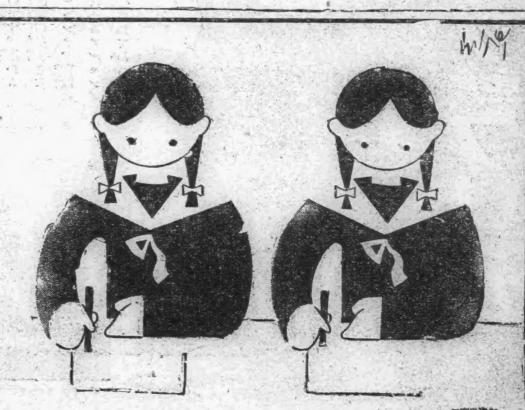
てゐるのです。

が渡れて重いときです。 そのはな機利とした元気がなく

何でもない算術にあどんで、

はなっています。大学試験ですり

可憐な頭は



先变势消襲 毗分名全部太長用標

必ずノーシンを持たせて下受験の登校には、急場の用

さ意いに

うこても良くならないだけ、

余い間の傳教過彩絵で悩み。ど

表 事 四

に後女の思想の轉變を分析に後女の思想の轉變を分析に我なのやうな叙述がある。 一阿毛は小さい時からあの大の中うな叙述がある。 次のやうな叙述がある。 次のやうな叙述がある。

では頭を働かせればならぬのだって を驚かせ、一切のものは彼女が、彼女は一個の毫も知識を 特たねたつた今田舎から来た に向つて走つてむる。雪然、 に向つて走つてむる。雪然、 に向つて走ってもる。雪然、 に向って走ってもる。雪然、 に向って走ってもる。雪然、 に向って走ってもる。雪然、 に向って走ってもる。雪然、 に向って走ってもる。雪然、 に向って走ってもる。雪然、 に向って走ってもる。雪然、 に向って走ってもる。雪然、 に向ってきばのうちに陷 と

め、精神を集中する事が容易でなく、當然循風し疏忽な部でなく、當然循風し疏忽な部には別の好い點もあち、それは郷土の風俗人情をよく描像一帶の社會事情に對して相像一帶の社會事情に對して相像一帶の社會事が出点る。本篇を見ると、我々は湖南辺部の常見ると、我々は湖南辺部の常見ると、我々は湖南辺部の常見ると、我々は湖南辺部の常見ると、我々は湖南辺部の常見ると言はざるを得ない。

する人々も父親 する人々も父親 おとなしい田舎 に向って走った。 なと同じやうで をしてゐる子 でとしてゐる子 でとしてゐる子 でをしてゐる子 でをしてゐる子 で変してゐる子 で変してゐる子 で変してゐる子 で変してゐる子 の色も枯貴から勝次半 の佐然と とを簡 群しを、山下遊ぶ人も で変た 出した、山下遊ぶ人も で変た もと多くなつたそうで 生を簡 群しをしてるる海大学 で変た 出した、山下遊ぶ人も で変た もにしてその遊んであるの やしてその遊んであるの とをしてゐる者なの とをしてるるの とをしてるる子 の色も枯貴から勝次半 で変た としてるるの としてその遊んであるの でを持つ としてるるの としてるるの としてるるの としてるるの としてるるの で変がしてる。 で変がしてる。 で変がしてる。 で変がしてる。 で変がしてる。 で変がしてる。 でで変がしてる。 でをもしてる。 でをもしてる。 でをもつたやうでと でとしてるるの でとしてるるの でとしてるるの でとしてるる。 でとしてるる。 でとしてるる。 でとしてる。 でとしてるる。 でとしてる。 でとなる。 でとしてる。 でとてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとてる。 でとてる。 でとしてる。 でとてる。 でとしてる。 でとしてる。 でとてる。 で

大してそんな遠つた運命を持つてるるといふのか、そしてそんな遠つた運命を持つに、 佐せを得てゐるのか、そして後でせを得てゐるのか、これは阿毛が日夜不安で、思ひのすべでをそこに持つて来でゐたとは長いものではない、やがとは長いものだと思つてゐるやうだつた。幸嗣とはたが他人が見て楽ひ去られるだけであるやらだった。幸嗣とはたがによって楽ひ去られるだけであるだけであるではない。とはたが他人が見て楽ひった。幸嗣とはたがによって楽ひまった。幸嗣とはたがによって楽ひまった。今や彼とはたがは人が見て楽歌されるだけであるとはたがにのがり。幸福というないとは一般がことは世来ないのだ。

加みやげ電話照片距離

泰公司

日七五七

小原整骨院

御指定

専門

特効薬安心散 製売で ・ 一大学な ・ 一大学 ・

はいるというでは、 のはのなのために、 でいるさを入れるインタを 一段むらさきの輝きは でいるさを入れるインタを 一段むらさきの輝きは でいるさを入れるインタを でいるさきの輝きは でいるさきの輝きは

政治的な事情のために、左 要的乃至自由主義的な評論の 要的乃至自由主義的な評論の なく、日本傳來の國文學に關 するやうな時間的な評論も なく、日本傳來の國文學に關 するやうなものもなく左も右 するやうなものもなく左も右 するやうなものもなく左も右

潤えてなくなれ。 ならさきの幕壁よ むらさきの幕壁よ

この世に生れた。 変もぎらと輝いて 変もであると 変もなると

文本等は上記で表示。 三月號の『新潮』『文學界』 『文鑑』の編輯に見られる特徴は評論の殆んど皆無な事だどうも評論の登しい雑誌と云よるのは、頭のない人體と同じで甚だ問の抜けた印象を奥

六九清を

ころねつろ

頭のな

1

ク 壶

イ原つばへ行から、オペン たね、おまへは、毛も黒く たったし第一肥つてるし、 をったりなんなでヒロ は、おまへは、毛も黒く

に 本意のチュチー 本意のチュチー 本意のチュチー 本意のチュチー 日になったらチュチャンさんと新京へ来る。どんさんと新京へ来る。どんさんと新京へ来る。どんさもいれば、町角などではカッカリしてたのもかチュチャンか々とよそのチュチャンか々とよそののチュチャンのク交さんを呼んでくれるの父さんを呼んでくれるの父さんを呼んでくれるの父さんを呼んでくれる

好さんによろしく 夜は早 くねんねするんですよ

であらう。(幾山河)

一大月頃東京で 八月頃東京で 八月頃東京で 八月頃東京で 八月頃東京で 八月頃東京で 八月頃東京で

專門 科派を選出る の御用は 末松接骨院

はかつろ 央通り

選近を間は学飯館に関何 大和通四六ノニ

百貨店

電話金融

文準洋裁學院

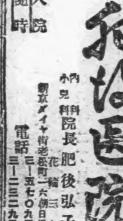
貨團勉强

印刷及帳簿 三友社 新京水樂町



電車編析扱所 大海支店 電際運輸會計各地支店 等等等所 電3 = 三八九 第二十二六 第二十二六 第二十二六 第二十二十二六 第二十二六 第二十二六 第二十二六 第二十二六 第二十二六 第二十二六











おいなより動作の方が早いれが欲より動作の方が早いれが欲より動作の方が早いれがないないにおそはれがないない。

抱けるのも

日は風がたくさん吹いて 今日はいいお天嶺で急にになつてしまつた。屋根になってしまった。屋根になってしまった。屋根である。さつき來た人はである。さつき來た人はでなったと話

う。大好きな馬貫こしで サコチャンの来る頃は雪も サコチャンの来る頃は雪も サコチャンの来る頃は雪も て仕事してテコチ とんな事もいやな事 とんな事もいやな事

は臭一、おれが本を出し たっに出版記念會もやってくれんと言ふで待つてみたんぢや、 のを待つてみたんぢや、 いまに盛大にやつてやる よ、そして飲むものは、 よ、そして飲むものは、 よ、そして飲むものは、 とう……友人の離れ彼れ とうして冷淡ぢやないとい からないといる。

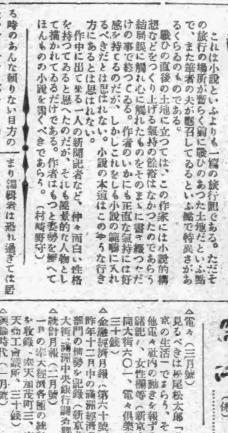






古物 | 一日板と 1 梅の | 一日板と 1 梅の | 一日板と 1 梅の | 高く 2 千日板と 1 梅の | 一日板 2 千日 | 一日板 2 千日 | 一日本 2

ぬあんま



和洲中央銀行調査師 ・ 本洲中央銀行調査師 ・ 大野・本天加茂明三、本 中央銀行調査課)中央銀行調査課)中の満洲経済各日報(第六十號) 女は「女子真的人を製みたき者と、 女中震か

作易 路温度で 南州堂で 南州堂で 高温度など 高温度など

部町一ノ五曜の 電話買ひた 3 イブ印献立四五四

これよし場所 新京吉野町一丁目 お茶

7

小説では

Brich

古光堂療院 三七七五〇曜(二ノ一町松老)街ヤイダ京新 社會式株融金和昭

■3六二四年

を融即時・長期秘密 僅なアタマ金でお買入が出来ます

今辨慶整骨院 兩鐵病院東正門前 是③五三六一等 唆立し食定ら稀天 喰立の司寿版大京東 进起物鋼席會

イター本 V 前) 大 等集体

おぐ 小小

三姓町 こうころ

2

清水堂鍼灸院 最語の六七二七番 A A 数

Mallion#

金、金、銀高價買入 橫濱屋質店 東二條通二十五章 邊籍3 四七七四番

東一條種五六 九州堂療院 みどり茶園 電③六五〇九 電の四七七〇 新しき女性の 新しき女性の 生た洋* 文本洋裁 変。間由 文本洋裁

自獨會

設四五人五

五九五三③南 陇社日朝 五二通条二東

際高・代書



抽滿 毒病

大和運輸

林公司

トラツクに

西田 と 西田 ス 西田 本 院





卅日、廿日、廿日 九







3 THE CHINA

大の附属品入荷

最新式+五日八十三 類な 本無領語 本無領語 (月殿取扱)



明京メイヤ街を松町一大棚日本 作 高三九五十の九番

松井髓子

%博奏屋

題四六五六四

视时三百七级是所追

是非人











して数字に示された或者は左のであることで、其の説明と

務制ならざる葛成績向上は

性電が疎かになりがちである。喉咙かくなるにつれ一般に

ネオン街總動員の

を置喜せしめてゐる、この鬚 を置きを是非修得したいと民 生部を通じての懸語に武道會

たよいたもので平野保健機育 社会によらでは はての親交は日獨高親等の上 によらばしいことであると早 連武道會と協議し民生部藤田 当吉、中學校山岡保孝・明師が 当古、中學校山岡保孝・明師が ることになり七日基本から稽 ることになり七日基本から稽

撃れなっても に親しく教へ に親しく教へ に著及に書及 を なったなっても なったなっても なったなっても なったなっても なったなっても

たなります。 ないこと たいこと たいこと で一生と たい一生 たい一生

七日午後七時五十

フランスアパート 日本橋通り六三番地(南廣場より南

梅用の方は

通商代表クノール氏の秘密 心な日本體護者は在新京獨

は道場で様古の間に汗を拭き

のローレッケ

の出身で薬馬、

小店員採用

(確實な

一回積立献金

二月分二百卅六圓本配寄託

本関防婦人會朝日分會を中心女性を打つて一丸とした大日

運突の掃除等意り勝ち房も使用終期に近づく

市民の少火の用心々が行風いて来たのか客月下旬より本月にかけて市内の火災数はずつと減少して氣味器いサイレンの音もとんと聞えなくなつたが例年の統計によるとこれがの野蛮を発生三月下旬から四五月頭が最も頻發季節で自然大火も多い、これには種々な原火も多い、これには種々な原火も多い、これには種々な原火も多い。

の易い、腫々言ふこと火事も多く同時に大火別特有の季節風が吹く対に一般に乾燥しさら

等の如き無意義に資材を偽 特護し一層火の用心をなす とこそ非常時間に をなするととである、幸ひに しまことに喜ぶべき傾向に しまことに喜ぶべき傾向に をなす ことこそ非常時間に 野城の をなす とこそ非常時間に 野域であると思ふ

ク代表秘書ローレツケ君が

免許目指

し猛練

語り市民に一層の要火心間防暑長艦観響正は左の

(日 曜 火)

のが断然音位を占めるもの一に拘はらず此の非常時局に上各自の不注意に基因する 立つ糟割き女性であると否理を怠るものが多い 楊を持つ人達はその第一線のなく使用しないからと修 関都のネオン街カフェーに

せ、さきにオールカフェーのでは奢傷安逸を戒め合つで

グノール代表 練習したがそ

記述在獨逸の日本熟は大した もので感んに日本の研究を もので感んに日本の向上、 道に對しては體位の向上、 道に對しては體位の向上、 では要検等では整備との動からもまた一 のでは要検等では必ず機能では をは必ずでは をは必ずでは をは必ずるや

賽馬俱樂部解散

なり七日午前十一時から日滿 に接收せられ解散すること、 に接收せられ解散すること、

宛を申受けるさうであ 因に場内整理のため一名十

福家氏の宣言に

書籍商懇談會開催

京に來たのでこの機に是非

雇傭主の理解如何で

成績は向上する

青年學校現况 (座談館)

三、後援會抵況 田小移接會長 田小移接會長

理を怠るものが多いと終めたく使用しないからと修

例年、春先きには

事が頻發する

暖くなると用心を怠りがち

戦時下特に緊張要望

大晴れ威容示す 月 関兵、訓練に大活躍 日

今大事變勢神以來第一線にあ でに新京神社に集合神社参拝 捕獲索、傳令等から家庭大と は、當日會員犬は午前九時ま てモデルを使つて犯人追跡速 近づいたがこの記念すべき日 では十日隆軍記念日に中央通 とになつた、訓練には主とし りに展開される大関兵式に参 に軍犬の性能を周知させるこ では十日隆軍記念日に中央通 とになつた、訓練には主とし りに展開される大関兵式に参 に軍犬の性能を周知させるこ かき 局別プロ決定 から に国つて訓練を行ふ豫定で参 が 常日會員犬を用ひ基本訓練、特別プロ決定 から 大き に 国のて 訓練を行ふ豫定で から 大き に 国のて 訓練を行ふ豫定で から 大き に 国のて 訓練を行ふ豫定で から 大き に 国の に 新京神社に 集合神社参拝 捕獲索、 停令等から家庭犬と から 大き 日本 に 本 に 本 に 国の に 新京神社に 集合神社参拝 ・ に 国の に 一般 なる は は で ない と に 国の に 新京神社に 集合神社 を は で ない と に 国の に から ない と に 国の に 新京神社に 集合神社 多 は で ない と に 国の に また と は で ない と に 国の に また と は で ない と に 国の に また と は で は は で ない と に 国の に また と は で は また と は で ない と に 国の に また と は で ない と に 国の に また と は で ない と に 国の に また と に すい と に 国の に また と に また と に 国の に また と に ない と に 国の に また と な に 国の に また と に ない と に ない と に 国の に また と に ない と に 国の に また と に ない と に ない と に 国の に また と に ない と に ない

加速では を発展されて 地で物品運搬等あらゆる方面 に亘つて訓練を行ふ豫定で多 に重つて訓練を行ふ豫定で多

通じて默勝時報を打鐘し午後時五九分より二分間マイクを

祝賀會は取止

講演者、式次第決定

寄い鳥の童謠舞踊等を催し、 第合奏、婦人社員の愛國舞踊 白衣の勇士を慰めることにな ラスパンド演奏、手品、尺八時から新京陸軍病院を訪問プ 開鐵新京支配では十日午後一

尚時局柄観賞會は取り止めと

兵慰問 滿鐵支社傷病

園施設充實

造園の權威佐藤學士招聘

満人の

ために

の設備を光電

聘して專ら公園の内容充實に現在哈爾濱市公薯勤務)を招

されてゐた滿人方面の安息所 ととし取り敢ず舊市街戦ケ所 に小公園を設置して從來閉却 を殺け

2回事の郷蔵で公園の完成に適

で、
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で
 で

行はれるこ となった

記念

日

様の耐安の足し でいるのと信じて、統領では無いものと信じての誠心には でいるのと信じて、統領では無いものと信じての誠心には でいるのと信じない。 は無いものと信じない。 は無いものと信じない。

一同を代表して友清組合献金を行ふとのことであれるを行ふとのことであ

にでもなればこれに起した。 と思りる等は毛頭ありません そこで今回朝日分會を中心 とに此の運動を始めましたと に此の運動を始めません との会員よく協力一致して と題ける。とが出来す を題は酸にしたと とのでする。 に此の運動を始めません との会員よく協力一致して との会員よく協力一致して とのでお にはのでお にはのでお にはのである。 とが出来す とが出来す

海洲國人事 となった 元の人事決していることに

芳

醇

白

理

切

2

居る

0

(養田教師任二等) (教師任二等) (教師任二等) (教師任二等) 佐 野 佐 野 佐 野 莞爾 電③に出るの

〇香

忠吉

校長 貴族院議員小貞男 科外 科病性 科馬皮 无昭

招き解散式が奉行した。

那込源太

八木節

自祝無料公演

中野高等無

ピスト

型ニニー・五九 ゼニ・寄宿舎売備無 信信学校 採用

支店 客下代用完 大 大 本 店 與 安 大

四官二七

本

(御佛祝を生)(東事事1葉)(東田用キ子)

菓和 子洋

勉强の店

(降於兵憲)四0二路程光

番八五九三(2)電

制烹

富士阿二丁目

味覺第一

会話(3) 六二一七巻 二六〇一巻

坂 本 登

會席にて六十名標まで

酒付御宴會二圓半より六圓迄各種なべ料型

ビス陣大増員!

0

金品 自由 世 帶道具。

返

加藤陶器店 六五八三巻

優秀品入荷 卅五圓より二百圓 ブリズム 圓より四十圓 EX 清 二九二三③電 叮野吉京新



櫻井滑あの五體をゆすぶつててはどちらもまけずおとらずの支那通▼元木岩が南支那時を公開に及べば

櫻井君がばんを

一月十日まで鑑定致しますに付機將整理を乗ね

昭和十三年三月七日 新京桔梗町二丁目七番地村三月七日午前零時永眠致候並に生前の御厚誼を舞謝し御通知にに生前の御厚誼を舞謝し御通知にに生前の御厚誼を舞謝し御通知にに生前の御厚誼を舞謝し御通知に

友人總代 同 親戚總

羽宫山深佐佐佐百 田崎内尾藤文竹

文竹 藤 次次恭慎仁 志信

額を以合はせてゐた▼さすが 君ともつまらん翻付でお互の

のき月月日日天 分気ののののの ふ 温ふ人出入出策の

型学科査問出席率も十一年度 の四十九パミセントに比して 十二年度は六十八パーセント で以上に示された如く年を追 で以上に示された如く年を追 で以上に示された如く年を追 大型率八十一パーセントに比して 大型率八十七パーセントに比して への途に對する選延と共に歴析主の で時代の進選と共に歴析主の を現在入學生徒数一千四十八名 で時代の進選と共に歴析主の ではた代の進選と共に歴析主の で時代の進選と共に歴析主の ではた代の進選と共に歴析主の



ちな観光線を選はせて、中吟くや な、その瀬田い展開に、蛇剣のや

にきびるとはかする とびひの数。配門のた とびひの数。配門のた とびひの数。配門のた はず形れずその近に数数を続り数を滑 はず形れずその近に数数を続り数を滑

つて、個人の取にいる寄せ

優七郎が、無視の族人と作動を

からなると東左衛門、庭に医吏

むしました。

しつけてみると、質問をもれる中にれてもまだ、性情中疑の提供を表

が 一気を削けられたかのやうに、

なるほど伊京町に、正真正聞き



皮膚病良薬

●消毒作用で

曹美ラ福×タル食堂、宴會場設備……の

大都

除京旬

東左衛門は、哲笑します! 見に何、念のために、 なあに、とれしきのこと、水ン 「手傷を到はれたやうだが……」 Pi

うと分らねので、マゴついてしま 腹に割つていゝか、點いか、ちよ てほんいとでは至ったものかく で中松平伊京守でとざると、政 た方の、御身分なり、 保証名を と、弾左衛 一般あな

ひました。 ち聞つた伊豆は、その夜は、長七かくて、誰べの腹で、屋敷へ立 知のにたが何につかへて、どうし のだから、補方一同、狐につま」 れた形で、そのまる引揚げてしま

老中遺難一四

(百八十四) の記述

長: **市之** 郎;

ねばつてゐる。役人は、ちよつと 『夜中の見難り、舞者男ぢゃの… をう言つてゐる魔左脚門の方へ 『はょる?』と、三尺ばかり飛びを差しつけると、眦の傷から 透って、一も二もなく恐れ入つて捉がを差しつけると、眦の傷から 透って、一も二もなく恐れ入つて …聊か存じ寄りもあれば、今夜の つしなたので 低いまで、伊三切が云ひます。

無いた様子で

「はツ、泰郎心様ましてどざりま 役人は、卑強部下に、引揚げを 何が何だか、サッパリのは分り

朝鮮ノ御ではハ

XXXXX

入船町三丁目十五阿川ビル

冷 電話 医医三番

迅速

和室 洋室 各室卓上電話付

電話三五六二一

海 本 E



ゆがりりか

●たむし●いんきん

整部をだんくか

(日 曜 火)

職の姿、一蹶衛所まで、楽で黄は

ればなりますまい。
「「現然所まで、楽で難は「現念ちゃ、か気を討て?」
「おお来り込むとも、どの道、例「ても聞ることができません。

その役人の口物では、こちらが

又しても情感を験り立てるのです

反って、不見倒人と見られてゐる

その同答を、続らで聞いてゐる

に営出しました。

『確と、長七郎に相談ないか。不

ら、腹を置か間の出

を願った上、作夜の出來権を見る

終東家光公に無路、お人構ひ

花

句"

お風呂の

包



新京曜町三丁目十八番地新京曜町三丁目十八番地新登、備後表 神後、 一式販賣 200011九八番地横被压工場 新京尾上町九八番地横被压工場 新京尾上町九八番地



浴好き・・ 罪 12 一清潔好きで入 日本人の我 和"

味がない 局花王

少多型力

湯 0 時

同